本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

ウォーキング ディクショナリー

CASIO 英和・和英 デジタル

T-1500

使用説明書

カシオ計算機株式会社 117

■はじめに■

このたびは《カシオT－1500》をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
本機は時刻・カレンダー機能に加えてほん訳機能、ドリル機能、ワールドタイム機能、アラーム機能、ストップウオッチ機能を備えた今までにない画期的なデジタルウオッチです。
末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願いいたします。

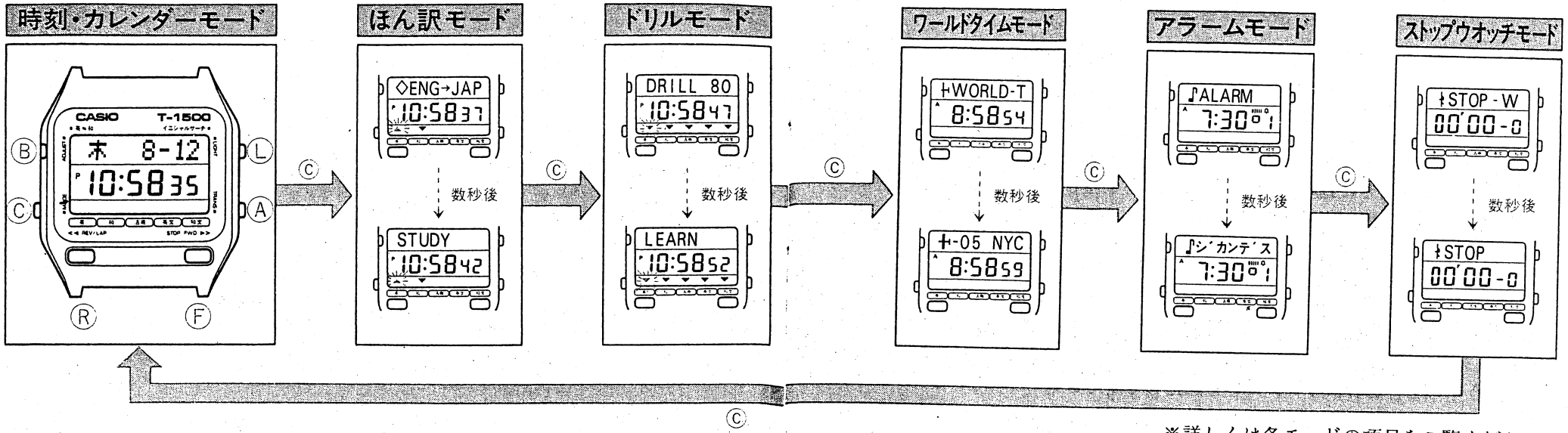
時計のお取扱いで万一誤ったボタン操作を行なっても製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■目　次■

■操作のしくみと表示の見方……3
■時刻・カレンダーの見方、使い方…5
■ほん訳機能の使い方……7
ほん訳のしかた……8
「英単語→日本語」のほん訳……9
自動スイープ……10
いくつも訳がある場合……11
「日本語→英単語」のほん訳……11
収録のしかた……12
■ドリル機能の使い方……13
調べ方……14
■ワールドタイムの使い方……17
都市のサーチ……17
ワールドタイムの時刻セット……19
■アラームの使い方……20
メッセージについて……20
セットのしかた……20
アラーム、時報のON/OFF……23
■ストップウオッチの使い方……24
■秒の合わせ方……26
■時刻・カレンダーの合わせ方…27
■ご使用上の注意……30
■電池交換について……31
■液晶パネルの交換について……32

■操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに⇨の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)



※詳しくは各モードの項目をご覧ください。

■時刻・カレンダーの見方、使い方

時刻・カレンダーモードでは時・分・秒・午前／午後・月・日・曜日が一括表示されています。
Ⓛボタンを押している間ライトがつきます。また、
Ⓕボタンを押している間ワールドタイムを、
Ⓡボタンを押している間アラーム時刻を表示します。



8月12日　木曜日
午後10時58分35秒を表示

☆12↔24時間制表示切替え
Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示（午前A／午後P）と24時間制表示とが切替わります。

☆5ヵ国語曜日表示機能
曜日の表示は英語、日本語、スペイン語、フランス語、ドイツ語の5ヵ国語のいずれかで任意に切替えることができます。
※切替えは時刻・カレンダーセット(27ページ参照)のときおこないます。

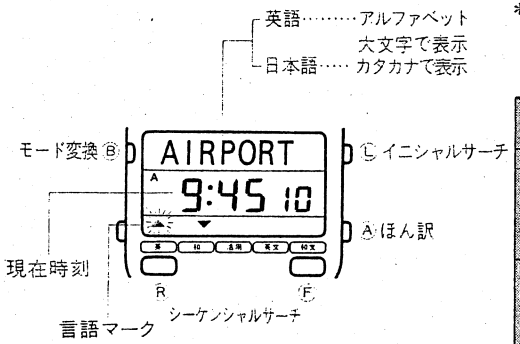
●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーです。
（うるう年の2月29日はカレンダーを修正してください）

〈曜日の見方〉

言語＼曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
英語	SUN SUNDAY	MON MONDAY	TUE TUESDAY	WED WEDNESDAY	THU THURSDAY	FRI FRIDAY	SAT SATURDAY
日本語	日	月	火	水	木	金	土
スペイン語	DOM DOMINGO	LUN LUNES	MAR MARTES	MIÉ MIERCOLES	JUE JUEVES	VIE VIERNES	SÁB SABADO
フランス語	DIM DIMANCHE	LUN LUNDI	MAR MARDI	MER MERCREDI	JEU JEUDI	VEN VENDREDI	SAM SAMEDI
ドイツ語	SON SONNTAG	MON MONTAG	DIE DIENSTAG	MIT MITTWOCH	DON DONNERSTAG	FRE FREITAG	SAM SAMSTAG

ほん訳機能の使い方 英語のほか日本語からも、Ⓒボタンを押してほん訳モードにします。

本機は英単語・熟語を1,666語(一語複訳を含む)収録し、英和・和英どちらのほん訳もすることができます。
英単語はアルファベット順、日本語は五十音順に収録しています。
※数字で始まる日本語(月名など)はワのあとに数字の小さい順から収録しています。



〝◇ENG→JAP〟モードで「AIRPORT」、午前9時45分10秒を表示

＊言語マークについて
言語マークはほん訳する方向を示し、表示している語のマークが点滅します。

モード＼操作	サーチしたとき	ほん訳したとき
◇ENG→JAP (英→和)	▼英 ▼和	▲英 ▲和
◇JAP→ENG (和→英)	▼英 ▼和	▲英 ▲和

ほん訳のしかた

(1)モード変換
Ⓑボタンを押すごとに〝◇ENG→JAP〟モード(英→和)と〝◇JAP→ENG〟モード(和→英)とが切替わります。
Ⓑボタンを押してモードを指定します。

(2)イニシャルサーチ
Ⓒボタンを押すごとにその頭文字で始まる最初の収録語を表示していきます。
Ⓒボタンでほん訳したい英単語(日本語)の頭文字をサーチします。
※押し続けると早送りします。

(3)シーケンシャルサーチ
Ⓕボタンを押すごとに収録語をアルファベット順(五十音順)に呼び出し、Ⓡボタンを押すごとに逆アルファベット順(逆五十音順)に呼び出します。
ⒻボタンまたはⓇボタンを押してほん訳したい英単語(日本語)をサーチします。
※それぞれ押し続けると早送りします。

(4)ほん訳
目的の英単語(日本語)をサーチしたら、Ⓐボタンを押すとほん訳します。

●「英単語→日本語」のほん訳

〔操作例〕－FAMILYを調べる

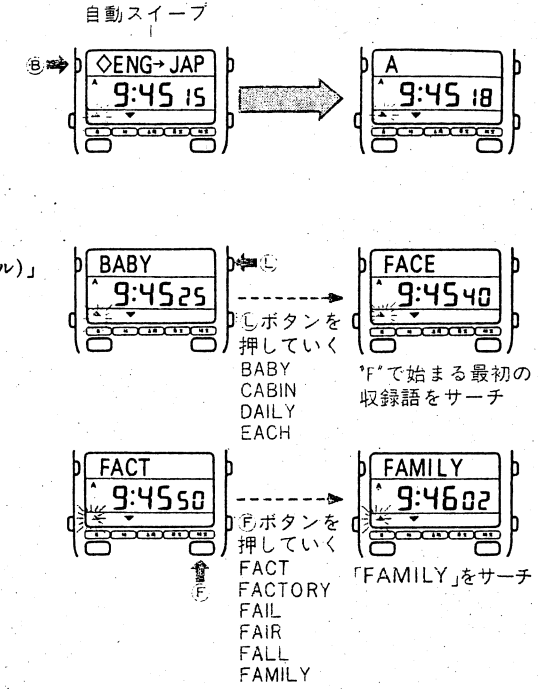
(1)Ⓑボタンを押し、「◇ENG→JAP」モードにします。

※モード名が自動スイープし、数秒後英単語「A」を表示します。

｛〝◇ENG→JAP〟モードのとき　「A」
｛〝◇JAP→ENG〟モードのとき　「アイ(スル)」

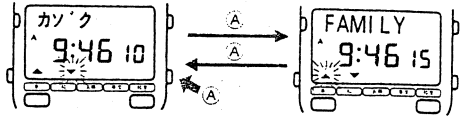
(2)Ⓛボタンを押し、〝F〟で始まる最初の収録語をイニシャルサーチします。

(3)Ⓕボタン(Ⓡボタン)を押していき〝FAMILY〟をシーケンシャルサーチします。



(4)Ⓐボタンを押し、ほん訳します。

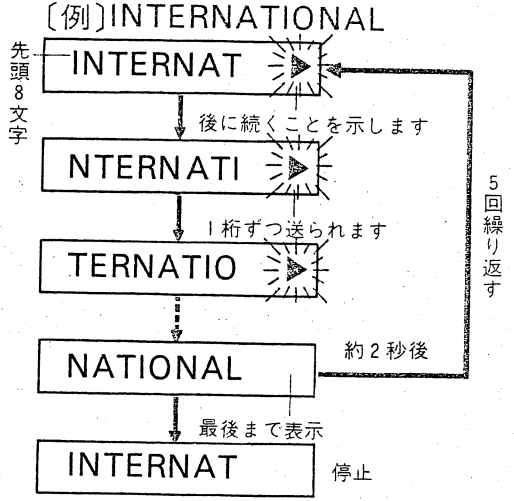
※もう一度押すとほん訳前の英単語を表示します。



●自動スイープ…表示内容が8桁を越えたとき

サーチしたりほん訳したときに表示内容が8桁を越えると(▶が点滅)先頭の8文字を表示し、続く文字は自動的にスイープ(1桁ずつ送られる)します。スイープは5回繰り返し、以後先頭の8文字を表示して停止します。

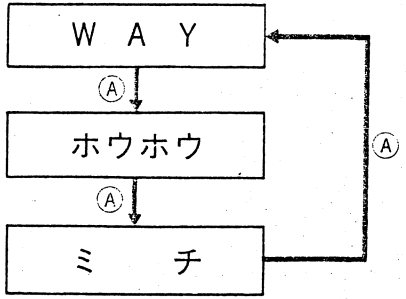
※スイープ中でも次の操作をすることができます。



いくつも訳がある場合

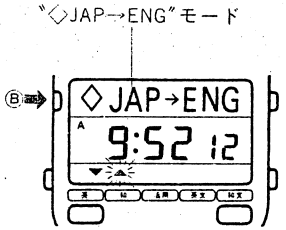
ほん訳したときいくつも訳がある場合はⒶボタンを押すごとに訳語を順番に表示します。すべて表示するとほん訳前の英単語(日本語)を表示します。

〔例〕WAY→方法、道



「日本語→英単語」のほん訳をする場合

「日本語→英単語」のほん訳をする場合はⒷボタンを押して〝◇JAP→ENG〟モードにします。英単語と同じ操作でサーチ、ほん訳することができます。
各ボタンの働きは「英単語→日本語」のほん訳の場合と同じです。



収録のしかた

同音異義語、補足説明が必要と思われるものなどには( )がつけられています。
また、米英相違語は米式つづりのみを収録しています。

○同音異義語

ツキ(コヨミ)——MONTH
ツキ(エイセイ)—MOON
タカイ(セタケ)——TALL
タカイ(ネダン)——EXPENSIVE

○補足説明が必要と思われるもの

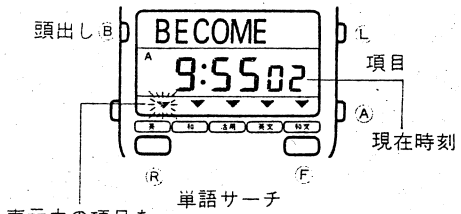
ヒ(ホノオ)————FIRE
ジシン(ユレル)——EARTHQUAKE
ツイテ(〜ニ)————→〜ニツイテ
クロ(イ)————→クロ、クロイ
シュッパツ(スル)→シュッパツ、シュッパツスル

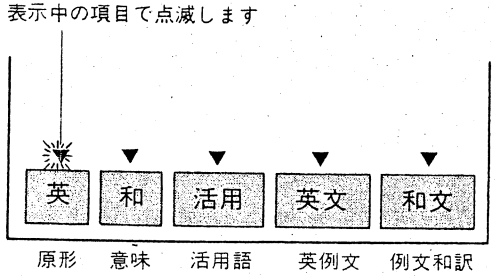
○米英相違語

THEATER(米式つづり)
THEATRE(英式つづり)
} THEATER(米式)のみ収録

■ドリル機能の使い方 操作のしくみ(P3)にしたがい、Cボタンを押してドリルモードにします。

ドリル機能は不規則変化動詞80語をアルファベット順に収録し、各語ごとに①動詞原形(英)、②意味(和)、③その活用(過去、過去分詞)、④その動詞を用いた英例文、⑤英例文の和訳の5項目を調べることができます。





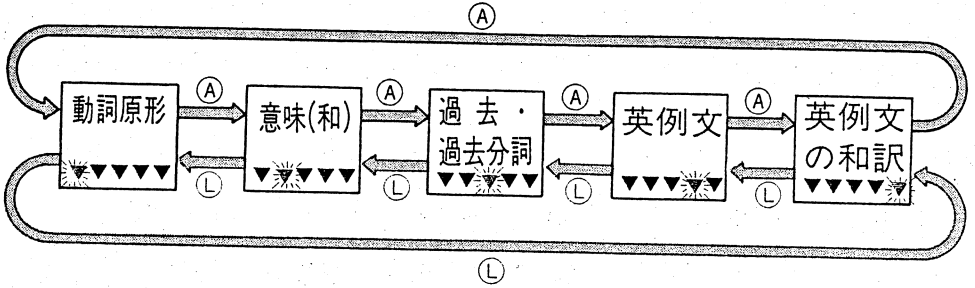
●調べ方

(1)Ⓑボタンを押すと最初の収録語の動詞原形「AM(BE)」を表示します。

(2)Ⓕボタンを押すごとに動詞原形をアルファベット順に呼び出し、Ⓡボタンを押すごとに逆アルファベット順に呼び出します。ⒻボタンまたはⓇボタンで調べたい動詞を呼び出します。

※それぞれ押し続けると早送りします。

(3)Ⓐボタン、Ⓛボタンを押すごとに項目が以下の順で切替わります。Ⓐボタン、Ⓛボタンでその動詞を調べます。



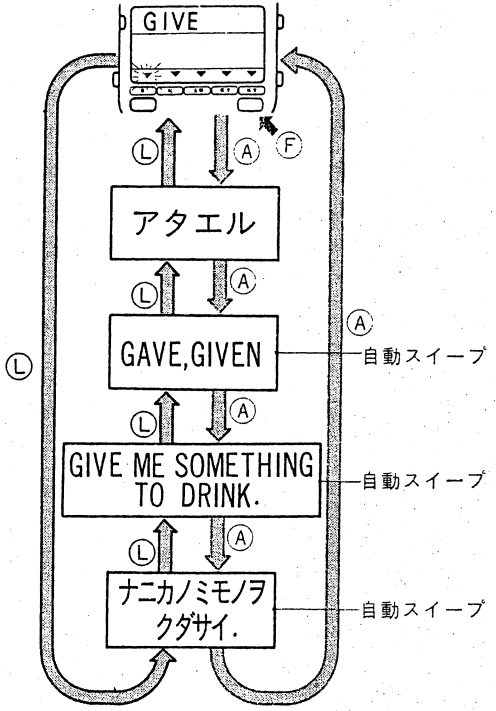
〔操作例〕

「GIVE」を調べる

(1)Ⓑボタンを押す。
(「AM(BE)」を表示)

(2)Ⓕボタンを押し「GIVE」を呼び出す。
(行きすぎたときはⓇボタンで戻す)

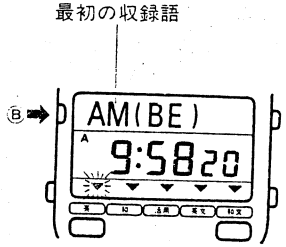
(3)右図のようにⒶボタン、Ⓛボタンを押して調べる。



○自動スイープ
例文などで表示内容が8桁を越えると最初は先頭の8文字を表示し、以後自動的に1桁ずつ送られます。表示のしかたはほん訳機能のときと同じです。(10ページ参照)

○頭出し
ドリルモードにおいていずれの動詞あるいは項目でも、Ⓑボタンを押すと最初の収録語の動詞原形〝AM(BE)〟に戻ります。

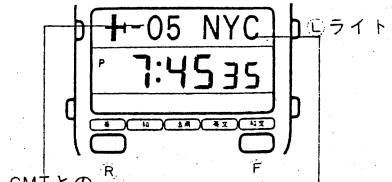
○収録語で現在形が人称によって異なる語では現在形の後に原形を( )内に記しています。
(例) IS(BE)
また、補足説明が必要なものにもほん訳機能の場合と同様に( )がつけられています。



ワールドタイムの使い方 操作のしくみ(P3)にしたがいCボタンを押しワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界24ヵ所の標準時を内蔵し、各標準時ごとにGMT(グリニッジ標準時間)との時差、都市コード、時・分・秒を表示します。

※「分」、「秒」、12／24時間制は時刻・カレンダーモードと連動しています。



ニューヨーク時刻
午後7時45分35秒を表示
GMTとの時差－5時間

都市のサーチ

ワールドタイムモードでⒻボタンを押すごとに時差を1時間ずつ進め、Ⓡボタンを押すごとに時差を1時間ずつ戻して各標準時を表示します。

※それぞれ押し続けると早送りができます。

時差、都市コード一覧表は右ページの通りです。

時差、都市コード一覧表

GMTとの時差	都市コード	都市名	同一標準時の他の都市、地域	GMTとの時差	都市コード	都市名	同一標準時の他の都市、地域
＋00	LON	ロンドン	(グリニッジ標準時)ダブリン、リスボンカサブランカ	＋12	WLG	ウエリントン	オークランド
＋01	PAR	パ　リ	ローマ、マドリード、アムステルダム、ハンブルグ	－11	― ― ―		ミッドウェー島
＋02	CAI	カ イ ロ	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート、ケープタウン	－10	HNL	ホノルル	アンカレッジ
＋03	MOW	モスクワ	クウェート、バグダッド、ナイロビ	－09	― ― ―		ドーソン
＋04	DXB	ド バ イ	アブダビ	－08	LAX	ロサンゼルス	サンフランシスコ、シアトル ラスベガス
＋05	KHI	カ ラ チ		－07	DEN	デンバー	エルパソ
＋06	DAC	ダ ッ カ	タシケント	－06	CHI	シ カ ゴ	ダラス、メキシコシティー ヒューストン
＋07	BKK	バンコク	ジャカルタ	－05	NYC	ニューヨーク	ワシントン、ボストン、モントリオール
＋08	HKG	香　港	北京、台北、マニラ	－04	CCS	カラカス	サンチアゴ、プエルトリコ
＋09	TYO	東　京	ソウル、平壌	－03	RIO	リオデジャネイロ	サンパウロ、ブエノスアイレス
＋10	SYD	シドニー	グアム島 ウラジオストック	－02	― ― ―		グリーンランド東部
＋11	NOU	ヌ メ ア		－01	― ― ―		アゾレス諸島

ワールドタイムの時刻セット

24ヵ所のうち1つの標準時(「時」のみ)をセットすれば時差にしたがい他の標準時も自動的にセットされます。

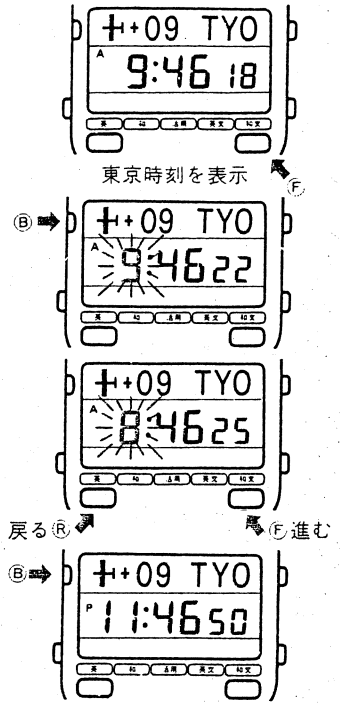
(1)Ⓕボタン、Ⓡボタンを押し、セットする標準時を表示させます。

(2)Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。

(3)Ⓕボタンを押すごとに1時間ずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1時間ずつ戻りますので、Ⓕボタン、Ⓡボタンでセットしたい時間にします。
※それぞれ押し続けると早送りができます。

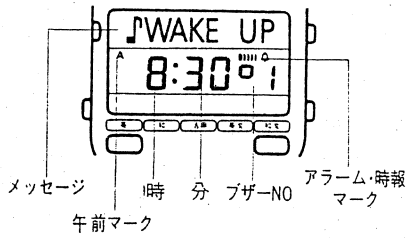
㊟「分」、「秒」は時刻・カレンダーモードと連動していますので合わせる必要はありません。

(4)セットが終わったらⒷボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。



■アラームの使い方 操作のしくみ(P.8)にしたがい、Ⓒボタンを押しアラームモードにします。

アラームは分単位で任意の時刻をセットでき、毎日セット時刻になると20秒間電子ブザーとメッセージで知らせます。
毎正時(00分のとき)を知らせる時報もセットすることができます。
※時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。



メッセージについて

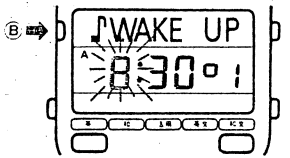
メッセージは右の6つのうちから選べ、セット時刻になると選択したメッセージがスイープ(1文字ずつシフトする)します。

〈メッセージ〉

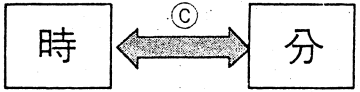
♪ALARM	♪イソギナサイ
♪MEETING	♪ジカンデス
♪WAKE UP	♪デカケナサイ

セットのしかた

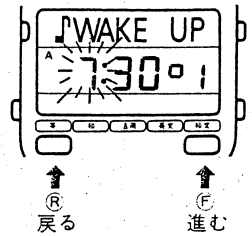
(1)アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が変わります。
※点滅個所がセット可能です。

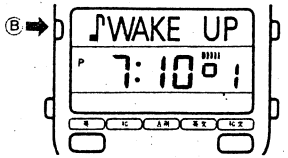


(3)Ⓕボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると早送り、早戻しができます。

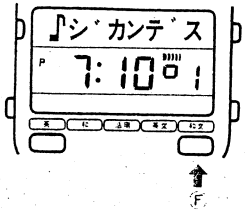


Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓕボタン、Ⓡボタンで表示を合わせて、アラームを鳴らしたい時刻にします。
※24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制でおこないます。

(4)Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、アラームマークが点灯します。

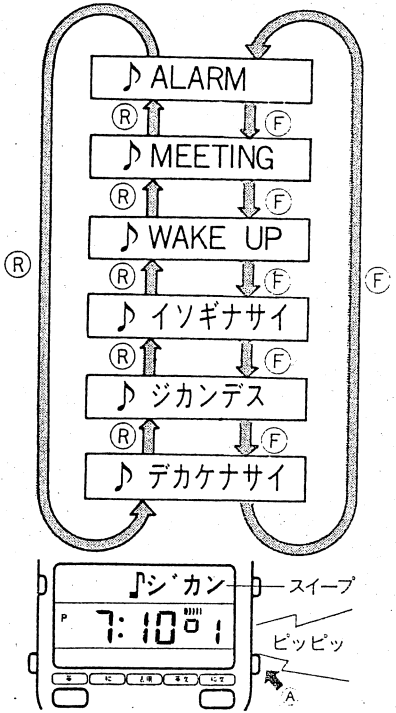


(5)メッセージの選択
Ⓕボタン、Ⓡボタンを押すごとにメッセージが右図のように切替わります。Ⓕボタン、Ⓡボタンでメッセージを選びます。



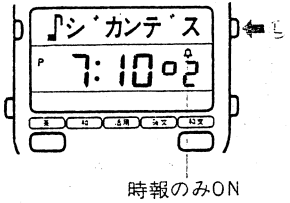
(6)電子ブザーの選択およびデモンストレーション
Ⓐボタンを押すごとにブザーNo.が変わり、ブザー音を選択することができます。
※押し続けるとブザー音が鳴り、メッセージがスイープします。(デモンストレーション)

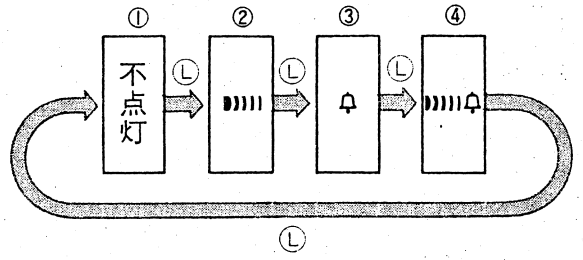
ブザーNo.	ブザー音
□1	⟶ピッピッ……
□2	⟶ピンポーン……



●アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓛボタンを押すごとにアラームマーク))))) 、 時報マーク 🔔 が以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

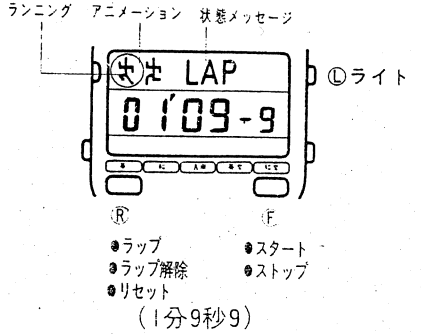




①アラームマーク、時報マークが消えているとき　⟶アラーム、時報ともOFF
②アラームマークのみ点灯しているとき　⟶アラームのみON
③時報マークのみ点灯しているとき　⟶時報のみON
④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき⟶アラーム、時報ともON

ストップウオッチの使い方 操作のしくみ(P3)にもどる

ストップウオッチは1/10秒の計測単位で59分59秒9まで計測でき(60分計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。
また「アニメーション」、「状態メッセージ」が表示され、計測状態を把握することができます。
★計測のしかた…Ⓕボタン、Ⓡボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

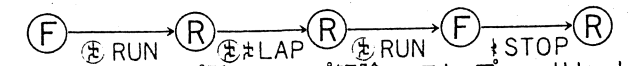


●通常の計測　Ⓕ →(RUN) Ⓕ →(STOP) Ⓡ
スタート　ストップ　リセット

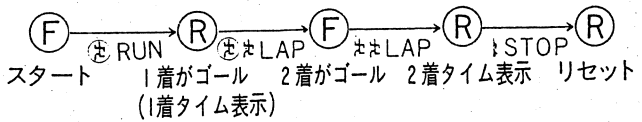
※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後リセットせずに再スタート(Ⓕボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

	アニメーション	状態メッセージ
停止中		STOP
計測中		RUN
ラップ計測中		LAP

●ラップタイム(途中経過時間)の計測



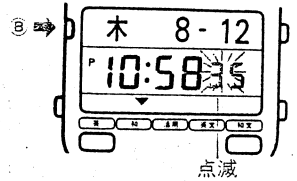
●1着・2着のタイム計測



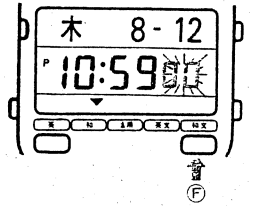
■秒の合わせ方 ―30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと〝秒〟が点滅します。

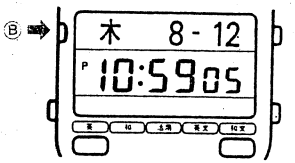


(2)時報に合わせてⒻボタンを押すと、〝秒〟が00からスタートします。



> 〝秒〟が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まります。



※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻・カレンダーが合っていない場合や曜日の言語を変えたいときは以下の方法でセットしてください。

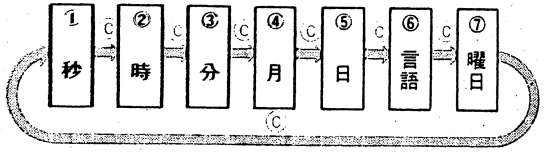
(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと"秒"が点滅します。

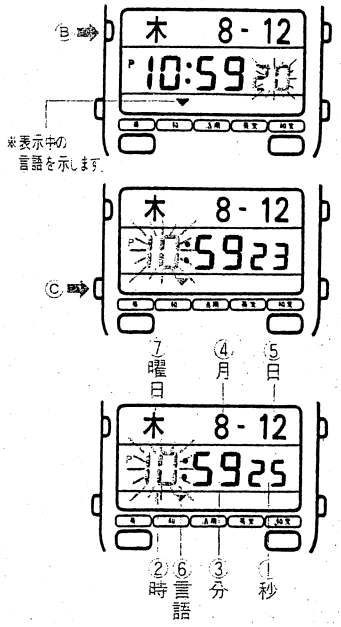
※"▼"は表示中の言語を示します。"▼"と言語の位置は以下のように対応しています。

英語	日本語	スペイン語	フランス語	ドイツ語
英	和	活用	英文	和文

(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。

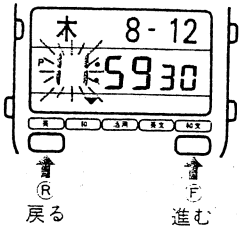
点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





(3)(点滅個所が)Ⓕボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りすることができます。

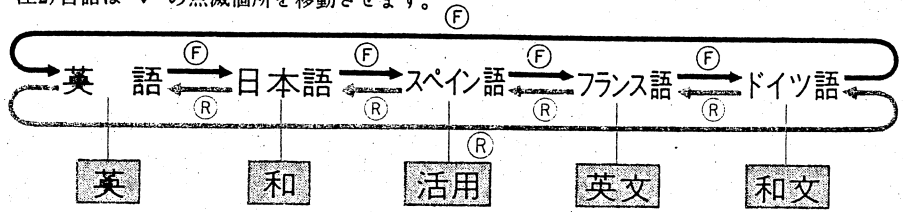
㊟"秒"のときは表示が00になります。⇒「秒の合わせ方」参照



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓕボタン、Ⓡボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

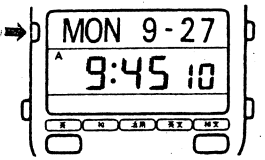
注1)曜日のセットは言語を選択したあとおこないます。(6ページ〈曜日の見方〉参照)

注2)言語は"▼"の点滅個所を移動させます。



注3)「時」のセットのとき午前A/午後P、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わりましたら、(どの個所が点滅していても) Ⓑボタンを押します。時刻表示に戻り、セット完了です。



9月27日 月曜日(英語)
午前9時45分10秒

- 鳴っている電子ブザーを止めるにはいずれかのボタンを押します。
- 他モードへの切替え
  ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して他のモードにしてもその計測には影響ありません。ただしラップ計測時にこの操作をするとラップは解除されます。
- 自動復帰機能
  時刻やアラームのセットで表示を点滅させたままにした場合、2～4分後、自動的にセット前の表示に戻ります。
- 時刻・カレンダーモードで時刻をセットしたときは、必ずワールドタイムモードでも時刻セットをしてください。

ご使用上の注意

温　度
直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
- 遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳、入浴、洗車時などでのご使用はお避けください。
- 防水性能を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

磁　気
磁気の影響はありません。

お手入れ
ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- 汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

ショック 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

薬品類 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

最初の電池 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。

- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

- 電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。